

世界をリードする力

国際社会における次世代のリーダーには、語学力はもちろん、コミュニケーション能力、国際感覚、論理的思考力、討論力、自律性などが求められます。慶應義塾大学理工学部には、単に語学を学ぶだけでなく、発表や討論、実地研修などを通して、多様な価値観や文化を理解するプログラムが多く用意されています。



英語での討論や発表が語学力を向上させ、
論理的思考力や表現意欲を高める。



空中ディスプレイの研究のために、 グローバルな環境で学べる慶應を選ぶ

私には空中ディスプレイを社会に浸透させたいという夢があります。中学・高校でも空中ディスプレイの研究に取り組んできましたが、そこで実感したのは最先端の研究に取り組むには基礎知識が足りないということ。そうした理由から、空中ディスプレイに関わる工学/光学の知識をはじめ、研究に必要な基礎をしっかりと学べる慶應の理工学部に入學しました。空中ディスプレイは海外での研究が進んでいるので、ダブルディグリープログラムや交換留学など、国外の大学で学ぶ機会が充実しているのも進学を決心する大きな後押しとなりました。

1年生から研究室での研究活動に取り組める「ジュニア研究プログラム」や英語のみで授業が行われる GIC科目を履修できるなど、入学して実感している理工学部の魅力はたくさんあります。なかでも特に印象的だった科目は、グローバルリーダーシップセミナー (GLS) です。他分野の教員の講演を聞き、その内容について他の学生との意見交換やプレゼンを行うことで学びを深めるプログラムは、自分の研究にインスピレーションを与えてくれると思って履修しました。実際に履修してみると、貴重な学びをたくさん得られるとともに、自分に足りないと感じていた英語でのディスカッション力も養えました。

2年生の秋からは交換留学制度を利用し、光工学分野の先進的な研究を行っているトロント大学で1年間学ぶ予定です。留学などを通して学生時代から海外での経験を積み、将来は国内外の機関で研究に取り組んでいきたいです。そして、Society 5.0構想を超えるような社会を実現していくことに貢献したいと思っています。

学門B入学1年
神奈川県出身

外国語教育 (英語・諸外国語)

学部1・2・3・4年

英語科目ではアカデミックな英語運用能力の習得を通じて、論理的・批判的思考力を養います。習熟度別にクラス分けされた第1・第2学年の必修英語に加えて、選択英語(総合教育科目)で「リーディング」「ライティング」「スピーキング」「リスニング」といった技能別授業を学部4年間にわたり履修できます。諸外国語は、第1学年でドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語のうち一つを選択して必修科目として学びます。これらの外国語も、目的別・レベル別のクラス(総合教育科目)で、学部4年間にわたって学ぶことができます。



グローバルリーダーシップ セミナー (GLS)

学部1・2年

次世代のリーダーとして活躍するために、国際感覚、論理的思考力、討論力、言語力、自律性の大切さを肌で感じ、体得するプログラムです。英語そのものを学ぶのではなく、英語を使って様々なテーマについて発表したり議論したりします。参加学生の多様な価値観や異国の文化を理解することで、世界でリーダーシップをとれるような国際感覚を養います。長期休暇中には、関連科目として「グローバルリーダーシップセミナー実地研修」を実施しています。



留学プログラム

学部1・2・3・4年 大学院

気軽に参加できる短期の語学研修から派遣交換留学まで、世界約140校の協定校に留学できる、多彩なプログラムが用意されています。理工系学生に特化したプログラムも多く、外国語を使って理工学を学ぶことができます。また、4学期制の中の春学期後半を利用して、海外サマースクールなどに参加できる学科もあり、単位を取得できた場合は慶應義塾の単位として認定される可能性があります。現地の文化に触れ、世界中から集まった学生と意見を交わすことで、国際感覚が磨かれます。



ダブルディグリー プログラム

学部3・4年 大学院

慶應義塾と協定校の合意のもとで準備された一連のカリキュラムを修了すると、両校から同時に修士の学位が取得できる制度です。「学部生向け大学院一貫プログラム」と「修士課程学生向けプログラム」があり、フランスのエコール・サントラルやその他ヨーロッパ諸国の有力大学院で提供される正規カリキュラムを学びます。専門分野の学習と異文化圏への理解が深まる、高度なプログラムです。

